



水稲 殺虫・殺菌剤/育苗箱施用剤

NEW

ブーンハーテス®

いもち病 紋枯病 初期害虫 チョウ目

高密度は種対応 は種時から

箱粒剤

稲の病害抵抗性がアップ!

病害虫から 守る!

- ・水稲の主要病害虫を一度に防除可能。
- ・コブノメイガに高い防除効果。
- ・は種時～移植当時まで箱施用可能。



いもち病



紋枯病



ウンカ類



コブノメイガ



ブーンハーデス®

箱粒剤

有効成分	スピネトラム …… 1.0%	トリフルメゾピリム …… 0.75%
	[スピネトラムJ …… 0.76%]	ジクロベンチアゾクス …… 2.0%
	[スピネトラムL …… 0.24%]	ペンフルフェン …… 2.0%
人畜毒性	普通物 (毒劇物に該当しないものを指している通称)	

- 特長**
 - 水稻の主要病害虫に優れた効果と長い残効性
 - 抵抗性ウンカ類、コブノメイガなどのチョウ目害虫に優れた効果
 - 稲に安全性が高くは種時～移植当日まで使用可能

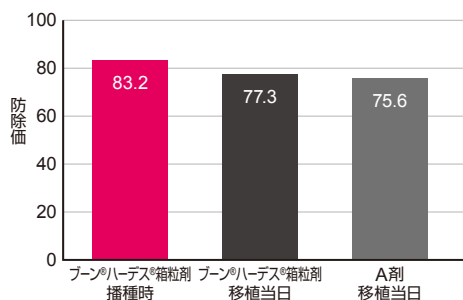
適用病害虫と使用方法

2024年2月現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピネトラムを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数	ジクロベンチアゾクスを含む農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ幼虫	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	1回	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	1回
	いもち病 紋枯病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネドロオウムシ コブノメイガ		は種時 (覆土前)～移植当日						
	イネミズゾウムシ幼虫	高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)	移植3日前～移植当日						

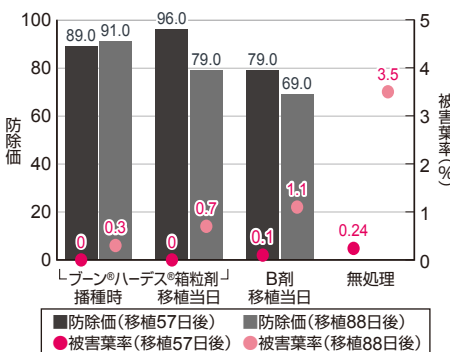
新農薬実用化試験成績

●葉いもち病に対する効果 (播種時、移植当日処理)



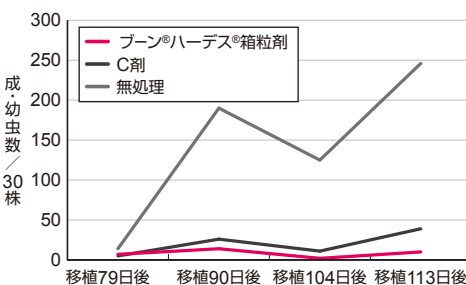
2021年 山口県農林総合技術センター
品 種：関東90号
区制・面積：1区96㎡ (6m×16m) 連制なし
播 種：5月17日
移 植：6月9日
発 生 程 度：多 (接種)
調 査 日：7月28日 (移植49日後)
調 査 方 法：30株3か所について病斑面積率から防除値を算出した。

●コブノメイガに対する効果 (移植当日処理)



2022年 山口県農林総合技術センター
品 種：ヒノヒカリ
区制・面積：1区116㎡ (3.6m×32.2m) 連制なし
播 種：5月26日
移 植：6月20日
発 生 程 度：少
調 査 日：8月16日 (移植57日後)、9月16日 (移植88日後)
調 査 方 法：各区50株の3か所について上位3葉を対象に被害葉数を調査し被害葉率および防除値を算出した。

●トビイロウンカに対する効果 (移植当日処理)



2021年 鹿児島県農業開発総合センター
品 種：あきほなみ
区制・面積：1区198㎡ (9m×22m) 反復無し
播 種：5月13日
移 植：6月1日
発 生 程 度：少
調 査 日：8/19 (移植79日後)、8/30 (移植90日後)、9/13 (移植104日後)、9/22 (移植113日後)
調 査 方 法：各区10株の3か所について払落し法により、粘着版で捕獲したウンカ数を調査した。

【使用上の注意事項】

- 所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布してください。なお、葉に付着した薬剤は軽く払い落としてください。
- 苗を田植機にのせる際、育苗箱の土壌表面が乾燥している場合は薬剤が落下するおそれがあるため、散布後に葉に付着した薬剤を払い落としその後軽く灌水してください。
- 育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 軟弱徒長苗、われ苗または苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきをはいていに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、処理した稲苗を移植した水田及び隣接した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行ってください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください (刺激性)。
- 散布時は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物 (魚類) に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動植物 (甲殻類) に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。